平成２８年度　関東ブロック青少年国際交流を考える集い開催要綱

１．趣　旨

内閣府､関東ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報交換を行うと共に、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

２．テーマ

武蔵の要、小江戸川越でつなぐ新たな絆

～国や世代を超えて地域の絆を深め、ボーダレスな国際人になろう～

現代は、コミュニケーション手段の多様化が進む一方で、「３つの絆の希薄化」という課題を抱える時代でもある。すなわち、「地域との絆」及び「世代間の絆」の希薄化、更に「多様な国籍を持つ人たちとの絆」の不十分さを補うための関係構築の必要性である。

インターネットを通して、即座にコミュニケーションが取れる反面、「実際に会い、理解しあうことの重要性」が見落とされがちな昨今、世代、地域の団体や個人、そして多国籍の人々と一同に会することで、相互理解や相互交流を促進できる場は、更にその重要性を増してきている。

本大会では、東京国際大学名誉教授ベーリ・ドゥエル氏を講師に迎え、今なお伝統文化が息づく川越のイモ文化を復興させた立役者として、アメリカ人と地元を愛する日本人たちの交流の歴史がどのように文化や国籍の壁を越え、地元の人との絆を育んだか、そして新しいイモ文化を切り口とした多文化理解と、地域に根差した食文化がどのように復興したかについて学ぶ。その後、4 つの分科会で、食や祭を通した日本の地域社会の魅力と課題と、どのようにコミュニティーとしての絆を取り戻していくかについて考え、酒蔵や伝統工芸の伝承のための取組を通じて、世代を超えて守るべきものと新しく作り出すものについて学ぶ。

これらの体験を通じて、多様な世代や国籍、そして地域との絆を深めることで、地域や歴史の理解、そして多文化共生の重要性を改めて認識し、参加者の成長を促すことをねらう。

３．主催

内閣府
日本青年国際交流機構
一般財団法人青少年国際交流推進センター
埼玉県青年国際交流機構

４．後援

埼玉県（予定)、川越市(予定)、埼玉県青少年団体連絡協議会（予定）

５．主管

平成２８年度「関東ブロック青少年国際交流を考える集い」実行委員会

６．期日

平成２８年１１月１２日（土）～１３日（日）

７．会場

１日目：川越東武ホテル（主会場、基調講演・一部の分科会・懇親会）

〒350-1122 埼玉県川越市脇田町 29-1　TEL：049-225-0111
川越市南公民館(一部の分科会)
〒350-1124 埼玉県川越市新宿町１-17-17 TEL：049-243-0038

２日目：ウェスタ川越
〒350-1124 埼玉県川越市 新宿町 1-17-17 TEL：049-249-3777

８．参加対象者
内閣府、各ブロック内の地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者
国際交流に関心のある青少年等

９．問い合わせ先
関東ブロック青少年国際交流を考える集い実行委員長　牛口洋介
ＴＥＬ：０８０－３９１８－７７７９　　ＦＡＸ：０４９－２１４－６１１４
Ｅ－ＭＡＩＬ：saitamaiyeo@gmail.com

１０．参加費
①．宿泊ツイン（全日程参加・１泊朝食付き、懇親会費込）　13,500 円
②．宿泊シングル（全日程参加・１泊朝食付き、懇親会費込）　16,000 円
③．日帰り参加（基調講演＋分科会＋懇親会参加、宿泊なし）　9,000 円
④．懇親会のみ参加　8,000 円
⑤．基調講演・分科会のみ参加（懇親会参加なし）　1,000 円
※ＩＹＥＯ会員以外の一般の方の基調講演の参加費は無料、分科会は実費のみとなります。
※子どもの参加費等は別途相談下さい。

１１．参加申し込み
参加申込書に氏名・住所・性別・電話番号・メールアドレス・参加プラン（①～⑤のいずれかを選択)、分科会（Ａ～Ｅのいずれかから第 3 希望まで記入)、地域理解研修参加の有無（参加の場合はＩかⅡのいずれかを選択）を明記の上、10 月 25 日(火)までに大会専用 WEB フォーム（推奨)、e-mail、郵送のいずれかでお申し込みください。
【申込方法】
① 大会専用ＷＥＢフォーム(推奨)
https://goo.gl/gtdlvU
② Ｅ-ＭＡＩＬ
ＩＹＥＯのＨＰ(スケジュール) http://www.iyeo.or.jp/ja/schedule/　より申込書をダウンロード後、saitamaiyeo@gmail.com へ申込書を添付して送信
③ 郵送（埼玉県青年国際交流機構）※10 月 25 日(火)必着
〒３５８－００１２　埼玉県入間市東藤沢２－１０－２０　大島様方
埼玉県青年国際交流機構　会長　大島修一　宛

【振込先】
口座名：埼玉県青年国際交流機構（サイタマケンセイネンコクサイコウリュウキコウ）
郵便局からの振込　００１５０－２－４５３６８
ほかの金融機関からの振込　０１９（ゼロイチキュウ）　当座　００４５３６８
※入金確認をもって申込を確定といたします。

※参加申し込み後のキャンセルについては、11 月 1 日（火）以降、所定のキャンセル料が発生します。

１２．日程

第１日目・１１月１２日（土）　@川越東武ホテル

１２：３０　受付
１３：３０　開会式
１４：００　基調講演
～１５：３０

基調講演「拡げよう！川越発イモづる式国際交流の輪」
（講師：東京国際大学名誉教授　ベーリ・デゥエル氏）
江戸の時代から川越芋の産地として有名な埼玉県川越市。一時は衰退してしまったイモ文化再興の裏には、一人のアメリカ人と地元を愛する日本人たちの交流の歴史がありました。その立役者であるドゥエル氏は、どのように文化や国籍の壁を越え、地元の人との絆を育み、新しいイモ文化の担い手となっていったのかベーリ・ドゥエル氏の体験に基づいて、他文化理解と地域に根差した食文化の復興の取組を学びます。

１５：３０　分科会等
～１７：３０

Ａ．時代を超える　川越イモ巡りの旅
（講師：東京国際大学名誉教授ベーリ・デゥエル氏）
一度は廃れてしまった川越のイモ文化が現在はどのように街に根付いているのか、実際に川越イモにゆかりのある、毎年イモ供養が行われる妙善寺、芋菓子歴史館、サツマイモ菓子の製造現場への視察等を行います。実際にイモ文化について多面的に触れる中で、地域の活性化について考えます。（実費要）

Ｂ．カラダで感じろ、日本の祭(講師：マツリーズム代表　大原学氏)
日本全国を行脚し、様々な祭に実際に参加してきたマツリーズム代表、大原学氏を講師にお迎えし、祭を通して、日本の地域社会の魅力と課題を考えます。地域住民の高齢化や過疎化に伴い、衰退しつつある地域の祭を、どう盛り上げ、コミュニティーとしての絆を取り戻していくかについて意見を交わすことで、今後の世代間交流や地域での交流にいかすきっかけとします。（参加無料）

Ｃ．20 代当主が語る若い力の魅力～日本酒の伝統と挑戦～
（講師：石井酒造８代目当主　石井誠氏）
埼玉県幸手市の石井酒造は、各メディアでも多く取り上げられている酒蔵です。
天保から続く伝統を引き継ぎながらも、日本酒の文化を守り、革新していくために、クラウドファンディングや酒蔵対決を行うなど常に新しいことに挑戦し続けています。こうした取組を学びながら、世代を超えて守るべき伝統とは何か、若者ができることは何かを、埼玉から考えます。（参加費 1,000 円）

Ｄ．いにしえの明かり、和ろうそく作り
以前は日本各地で数多く作られていた和ろうそくは、現在は国内で数ヶ所でしか制作されていません。伝統的なろうそくを今の感性を取り入れて生まれ変わらせている和ろうそくを題材に、伝統工芸品の継承について考えます。実際に工房を訪れ、和ろうそくの歴史について学び、和ろうそくの材料の背景を知った上で、各自で作りながら、伝統文化の継承について議論します。（参加費 2,000 円）

Ｅ．家族プログラム（親子参加、中高生参加可）
～心も体もリラックス～ ダンスムーブメントセラピー
（講師：長谷川病院ダンスセラピスト・臨床心理士　峰岸由香 氏）
「ダンスムーブメントセラピーは、病院、学校、高齢者施設等で治療・ストレスケアとして用いられています。簡単なダンスやリズムの共有を通じノンバーバルな次元で他者と心理的交流などの『絆』を築き、健康的な自己表現を引き出します。ダンスの上手い下手は関係なく、初めて会った人でも性別・年代・言語も超えて一緒に交流しながら楽しむことができます。ダンスムーブメントセラピーを通じて生まれる新たな『絆』や心身のリフレッシュ、そして参加者自分の自らへの新たな気づきが得られるはずです。（参加無料）

１８：００　チェックイン
１９：００～２１：００　　夕食会兼懇親会

第２日目・１１月１３日（日）　＠ウェスタ川越

９：３０　　内閣府青年国際交流事業の成果発表会（シンポジウム）
１１：００　閉会式
１２：００～地域理解研修

13. 実行委員名簿

実行委員長：	牛口洋介	平成 19 年度	東南アジア青年の船	東京都渋谷区
副実行委員長：	柴崎悠一	平成 19 年度	国際青年育成交流/バルト三国	坂戸市
事務局長：	竹嶋梓	平成 23 年度	日韓	入間市
実行委員：	冨田美和子	平成 11 年度	世界青年の船/平成 16 年度　コア	川越市
	関根廣次	昭和 59 年度	青年の船	ふじみ野市
	大島修一	平成 3 年度	日韓	入間市
	蛭川麗	平成 22 年度	世界青年の船	蓮田市
	三上聡史	平成 24 年度	コア	所沢市
	村田仁美	平成 24 年度	世界青年の船	坂戸市
	鈴木良祐	平成 24 年度	日韓	所沢市
	富澤明久	平成 25 年度	日韓	東京都大田区
	佐竹映理奈	平成 26 年度	東南アジア青年の船	川越市
	竹嶋瞳	平成 26 年度	日韓	入間市
	奥畑勇人	平成 27 年度	東南アジア青年の船	草加市
	金子ちあき	平成 27 年度	ｼｯﾌﾟﾌｫｰﾜｰﾙﾄﾞﾕｰｽﾘｰﾀﾞｰｽﾞ	千葉県船橋市
	中村光	平成 27 年度	ｼｯﾌﾟﾌｫｰﾜｰﾙﾄﾞﾕｰｽﾘｰﾀﾞｰｽﾞ	草加市